



いいで町

180号

議会だより



昼夜問わず復旧工事で降雪前に開通した中津川橋

12月定例議会



携帯・スマホからアクセス!

3月定例会	P 2 ~ 3
一般質問	P 4 ~ 10
意見書・決議	P11
各常任委員会	P12~13
意見交換会・各種報告	P14
新年挨拶	P15
事務組合報告	P16

「ゼロシティ」を宣言

排出量実質ゼロを目指して～

12月定例会

概要

令和2年第10回定例会は、12月9日から15日までの7日間開催され、6人の議員が一般質問に立ち、町政を問いました。

新たな条例2件、条例の一部改正3件、各会計補正予算8件、工事請負契約の一部変更1件、交通事故に係る損害賠償の額の決定2件と意見書1件を審議し、全て原案のとおり可決しました。

本会議終了後、議場にて町長より二酸化炭素排出ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」の宣言が行われました。

新たな条例

◆飯豊町中小企業緊急災害等対策利子補給基金条例

中小企業緊急災害等

対策利子補給金交付要綱の規定により交付する利子補給金の財源に充てるため。

◆飯豊町いじめ防止対策の推進に関する条例

いじめ防止対策推進

法に基づき、いじめ問題等への組織的対応を行うため。

一部を改正する条例

◆飯豊町特別職の職員

の給与に関する条例
いじめ防止対策の推進に関する条例の設定

に伴い、非常勤職員を設置するため。

◆飯豊町国民健康保険

保険条例

地方税法施行令の一部改正に伴い所要の規定基準を行うため。

◆飯豊町長寿祝い金支給

給条例

長寿祝い金条例が令和2年12月31日をもって失効することから、祝い金の支給基準を一部改め、引き続き長寿祝い金を支給するため。

工事請負契約の一部変更

◆飯豊町立飯豊中学校

大規模改修工事（債務負担行為）
契約金額

8億7450万円を
8億9407万円に
1957万円の増額
変更。

飯豊町

「ゼロカーボンシティ」宣言

～2050年までに

二酸化炭素排出量ゼロを目指して～

近年、地球温暖化の進行やその影響による異常気象から、世界的に甚大な自然災害が頻発しています。飯豊町は、気候変動が暮らしの著しい脅威となっていることを認識し、気候非常事態宣言を発し、この危機的な状況と向き合い、脱炭素社会・循環型社会に向けた取り組みを強化することとしました。

2018年に公表された国連の特別報告書では「気温上昇を1.5度Cに抑えるためには、2050年度までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする必要がある」と示されています。

飯豊町は、町民や事業者、行政が一体となり、SDGs 未来都市計画、バイオマス産業都市構想及び飯豊電池バレー構想の実現と、先人から受け継がれてきた「日本で最も美しい村」の豊かな暮らしを次世代へ引き継ぐため、2050年までに二酸化炭

「ゼロカーボン」 ～2050年までに二酸化炭素

一般会計補正

一般会計予算に2838万円追加し、歳入歳出総額を78億8744万円としました。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や新生活様式対応支援事業補助金と地方交付税等による補正です。

主な歳入

● 地方交付税

4527万円

● 総務費国庫補助金

573万円

● 土木費国庫補助金

△2545万円

● 商工費県補助金

772万円

● 災害復旧債

△1270万円

● 民生費委託金

460万円

(新型コロナウイルス
感染症対応職員慰
労給付金)

主な歳出

● 上郷地区農地整備事業

704万円

● 林業総務費

△594万円

● 土木費国庫補助金
(木材製品利用住宅建築
奨励等助成事業の減)

1281万円

● 観光費

1281万円

● 災害復旧債
(温泉入浴施設持続
化給付金の追加)

1281万円

● 道路橋梁災害復旧費

△2900万円

(災害査定による減)
● いいですね定住推進
事業 500万円
(住宅取得等の定住
推奨金の増)

第8回臨時会

10月19日臨時会が開催され、補正予算、公有財産の取得の2件を審議し全員賛成で可決しました。

◆ 補正予算563万円

・インフルエンザ予防接種支援追加

182万円

・新生活様式リフォー
ム支援追加

201万円

◆ 公有財産の取得

(令和2年度飯豊町G
IGAスクール対応
学習用端末導入事業)

・取得しようとする財産
学習用タブレット

538台

・取得価格

5060万円

・購入先
山形県米沢市中田町
(株)データシステム米
沢

・取得価格

素の排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」へ挑戦することを宣言します。

令和2年12月15日

飯豊町長 後藤 幸平

(紙面の都合上一部省略しています)



ゼロカーボン宣言

第9回臨時会

ため

飯豊町一般職員の給
与に関する条例

11月30日臨時会が開
催され、条例の一部変
更改正2件及び工事請
負契約の一部変更を審
議し全員賛成で可決さ
れました。

山形県人事委員会に
基づく給与改定

・工事請負契約の一部
変更(令和2年度新
産業集積事業貸工場
外構工事)

契約金額1億265
0万円を1億394
4万円に変更し、工
期を令和2年12月25
日にするものです。

◆ 可決議案
・飯豊町特別職の職員
の給与に関する条例
特別職の常勤の職員
及び議員の期末手当
支給割合を改定する

・取得価格

町政の

一般質問

ここはどうする？

6名の議員が質問に立つ

1. 議席番号5番 高橋 勝 議員	①4期目の町政運営について…………… P5 町民生活への波及効果と予算編成を問う
2. 議席番号4番 遠藤 芳昭 議員	①若い人が魅力に思う町づくりについて…… P6 ②屋内運動場、遊戯施設、図書館等整備の 必要性について ③まちづくりセンターの現状と今後の課題 について
3. 議席番号3番 舟山 政男 議員	①これからの町政運営について…………… P7
4. 議席番号2番 屋嶋 雅一 議員	①移住、定住の促進による 人口減少対策について…………… P8 4期目の後藤町政公約から伺う
5. 議席番号1番 川崎 祐次郎 議員	①第5次飯豊町総合計画における 地域づくり推進事業の位置づけ…………… P9 ②青少年スポーツ振興に資する今後の施策 は ③第8期介護保険事業計画と次期保険料額 の考え方は ④高齢者等に対する買い物支援
6. 議席番号6番 遠藤 忠 議員	①飯豊町の持続可能なウエルビーイング豊 かさが実感できる社会に！！…………… P10

傍聴しませんか

次回の定例会は**3月**です。お気軽にどうぞ。
電話 0238(87)0527 議会事務局

一般質問

4期目の町政運営について。 町民生活への波及効果と予算編成を問う



高橋 勝 議員

**脱炭素の町推進への
具体的取り組みは**

質問 町長は町政運営の柱のひとつに「脱炭素の町推進」と述べられていますが、具体的内容と町民が取り組む内容は？

また気候非常事態宣言を表明した多くの自治体はゼロカーボンシティ宣言を行っていますが、米沢市と高畠町が宣言を行なっていますが、今後宣言の予定は？

宣言を行い行動計画を策定へ

町長 SDGs 未来都市であり、気候非常事態宣言を行なった本町

の責務として、12月中旬にゼロカーボンシティ宣言を行い、今後は具体的な行動計画を策定します。町内企業や住民と協同で、二酸化炭素排出量を実質ゼロにする取り組みを進めていきます。また2月にシンポジウムを開催し、広く町民に周知していきます。

※答弁には「12月中旬に宣言を行う」とありますが、定例会最終日の15日に、ゼロカーボンシティ宣言を表明されました。(宣言詳細は本誌P2)

新年度予算編成の考えとコロナ対策は

質問 新型コロナの影響

響について、観光面ではインバウンドや都市との交流が途絶え、宿泊・飲食業の経営はまだまだ回復途上です。また農業面では外産品の落ち込みにより、来年度の転作率増加は確実です。そこで新年度予算編成に向けての、観光・農業振興策の必要性を感じますが町の考えは？

何らかの支援策は必要と認識し、支援を検討

町長 予算編成は、重点施策の実行と住民サービスの継続が基本です。しかしコロナ禍において、観光及び農業振興策については、新年度においても何らかの支援が必要と考えており、現在支援策を検討しています。

自治体業務の外部委託を提案

質問 次に組織改変による歳出削減案の提案です。それは自治体業務の外注化や業務委託であり、NPO法人との連携です。昨年9月定例会で「いいアイデアである」と回答がありました。このような新たな職場をつくり、人口の社会増につながる施策が必要ではないでしょうか？

外部委託のできる行政事務はまだある

町長 行政事務の中には外部委託できる事務がまだまだあります。ご提案のNPO法人やまちづくり団体との連携は必須だと考えています。業務内容にもよりますが、委託の民間委託の手法により地域にお金を還流することをお心掛けていくべきと考えます。

(本人執筆)



ゼロカーボンシティ宣言で、異常気象の減少を(昨年7月豪雨被害)

一般質問

若者が残りたい・戻りたい町づくり まちづくりセンターの体制整備を



遠藤 芳昭 議員

若者が残りたい、戻りたいと思える町に高校生の力を

質問 先日、置賜農業高校生徒のまちづくりに対する取り組みを学んだ。町出身の高校生を対象に郷土愛を育み、地域に貢献できる人材を育てる取り組みを行う必要があるのではないか。

町内の高校生に対する取り組みを検討する

教育長 以前は置農飯豊分校があり、地域での積極的な活動がありました。今は高校生を対象とした取り組みは行っていません。町長 本町に高校が無

くても、高校がある町以上に活動ができるまちづくりを行うべきと感じています。今後の取り組みについて、関係者と話し合い、町政運営に反映していきま

屋内運動場・児童遊戯施設・図書館を

質問 飯豊中旧グラウン



小国町屋内運動場「あいべ」部活・スポ少・イベントにも利用

施設の必要性を痛感

ドの活用を提案している。雪国のハンディを克服し、町民生活を豊かにする。早期に整備する必要があるのでは。
町長 近隣市町では施設が整備されており、本町における施設の必要性は痛感しており、民間投資を得た施設なども検討しています。複合施設と呼ばれる施設と考え、第5次総合計画の重点施策にしてまいります。

まちづくりセンターの役割、業務内容は

質問 公民館との違いがよく理解できない町民も多い。まちづくりセンターの設置目的、活動内容、組織の体制はどのようになっていくのか。

まちづくり委員会で運営している

教育長 まちづくりセンターは各センターにまちづくり委員会を設置して運営しています。地域振興、福祉、環境等多様な地域づくり活動を行うこととしていますが、内容をまとめる作業がすすんでいないのが実情です。

センターの指定管理や法人化等の検討を

再質問 住民本位のセンター運営のなかで、

センターを指定管理に戻し、地域課題を解決する組織や業務をめざすべきであり、法人化やコミュニティビジネスなどが行う必要があるのではないか。

組織や活動内容を充実させるよう考える

町長 一旦直営に戻したが、地域課題を解決するためのコミュニティビジネスが可能な法人化等、組織や活動内容について検討してまいります。(本人執筆)



維持管理が困難な空き家

一般質問

これからの町政運営について



舟山政男 議員

これからの町政運営について

質問 町全体を見て総合的に発展していくように望んでいます。どうなのかな。

持続可能な町作りに全力を尽くす

町長 農業と商業、住宅と買い物支援、教育と医療と健康、若者定住と子育て支援、道路、橋、水道水の安定供給など、課題は山積しているが、その解決のプロセスそのものが幸せとなるまちづくりを描き、町全体を俯瞰して全力を尽くしていきたいと思います。

小さな拠点づくりは

質問 地域運営組織が主体となって進める小さな拠点づくりはどうか。

まちづくりセンターを想定している

町長 中津川、白樺については設定して進んでいる。地域で支えあう制度、雪対策支援、買い物支援、移動支援などがある。

電池バレー構想について

質問 事業の当初計画に対して、現在の立ち位置と今後の見通しは。

専門職大学の開学や貸工場の操業は当初の予定より遅れている

町長 3者連携の枠組みだけでなく、これまで関わって来た専門家や研究者などの有識者からアドバイスをいただくとともに、時代の変化やニーズの変化に即応しながら、これからも構想実現に向けて取組を進めていきます。

自殺する人を出さないことについては

質問 今はコロナの時代で大変である。特に年末年始にあつてSDGsでは『誰ひとり取り残さない』とメッセージを発信している。尊い命を守ると言う事についてはどうか。

防ぐことができる社会的な問題

町長 本町では今年二月「いのちを支える飯豊町自殺対策計画」を策定しました。また、県のモデル事業の一環として町が実施する「他分野連携による総合的な相談支援体制整備事業」を町社会福祉協議会に委託して実施している。

無蓋防火水槽の維持について

強化に取り組んでいきます。
質問 管理は高齢化により大変になり危険である。重機の活用は。

地域内での協力で水利確保をお願いしたい

総務課長 消防団OBの活躍を含め、消防団と協議して進めます。
(本人執筆)



稼動がまたれる貸工場

一般質問

移住・定住の促進による人口減少対策は 4期目の後藤町政公約から伺う



屋嶋雅一 議員

公約の具体的な政策は

質問 公約に、安心生活・快適生活・支え合い生活で、心のまちづくりと掲げている。これは移住や定住の促進となり、人口減少対策につながると思うが、具体的な政策は。

本町で幸せに暮らし続けるための大切な視点

町長 安心生活においては、「町内のかかりつけ医」の1日も早い再開に向けての協議を行っています。快適生活においては、若者や子育て世代に定住いただけるための、ソフト事業や住宅支援、住環境整備を行ってまい

かかりつけ医の再開に向けての進捗は

ます。支え合い生活においては、高齢者の居場所づくり、気軽に日常会話や相談ができる環境づくりを進め、音楽や芸術などの文化に触れる機会も増やし、心の豊かさが実感できるまちづくりを行ってまいります。

再質問 現在診療所は大変混み合っている。町民が望んでいる「町内のかかりつけ医」の再開に向けての進捗は。

町長 整形外科、歯科、内科の医師からは大筋協

医師は大筋協力頂ける方向、不動産譲渡など課題は多い

待たれる
かかりつけ医



移住者との交流やサポート体制は

力頂けそうですが、不動産の譲渡には、少し時間がかかるとのこと。また医療管理者、運営管理者、医療行為責任者などの手続きが必要で、その代表者の選定も未達成です。各問題をなるべく早い段階で解決し、1日も早い再開に向けて努めていきたいと思えます。

再質問 支え合い生活について町長は、気軽に会話や相談ができる環境づくりとの答弁でしたが、移住された方と町民の交流や、移住された方の生活に関する疑問や不安を聞くサポートも大切と思うが、その体制は。

更なるサポートが必要

町長 この度の中津川橋の通行止めにより移住者の方々から、不安の声を多く頂きました。更なるサポートの必要を考えてます。

学校に支援スタッフの充実が必要

を行っています。学校に支援スタッフの充実が必要

県・国へ更なる要望

※スクールソーシャルワーカーとは、児童・生徒の問題を保護者や教員と協力し解決を図る専門職

教育長 先生方が、必要な業務に専念できるように支援を継続していきます。また、県・国へ更なる支援を要望していきます。

(本人執筆)

一般質問

予算編成における地域づくり、スポーツ振興、介護保険、そして買い物支援への対応は



川崎 祐次郎 議員

第5次飯豊町総合計画における地域づくり推進事業

質問 第5次総合計画実施にあたり「地域づくり」の考え方及び地区別に5年間で4百万円（年間80万円）を限度に補助金を支給していたが、今後の財政的支援は。また、地区別計画策定委員会を継続し、若い人たちの意見を聴く機会を増やしてはどうか。

事業を継続し、支援

町長 「住民主体のまちづくり」を原点と位置づけ、地域づくり推進事業を第5次総合計画においても継続して実施します。財政的支

青少年スポーツ振興のためのサッカー場の整備について

援については、予算編成において、制度の見直しを行いながら内容の充実を図ります。計画策定会議などを継続し、若い人たちの意見や提案を聞く機会を設けます。

質問

新型コロナ禍にあつて、健康維持、リフレッシュなど、スポーツの重要性が再認識されている。生涯スポーツのきつかけとなる青少年スポーツの内、野球と人気を二分するサッカーについて、飯豊橋の河川敷サッカー場3面の内、せめて1面を米沢市や白鷹町の

情報を収集し、整備

ように人工芝を用いてサッカー専用コートとして整備してはどうか。

町長 人工芝サッカー場の整備は、重い課題であるが、コロナ禍以降、必要な社会基盤です。河川を管理する国

第8期介護保険事業の介護保険料額の考え方

交省や山形県と協議し、町のスポーツ振興基金や国・県の財政的な支援など、整備に関する情報を収集し、できるだけ早い時期に整備できればと考えます。

質問

これまで65歳以上の方の介護保険料は、県内最高で標準月額6千850円である。来年4月からの第8期介護保険事業の介護保険料は月額いくらになるのか。介護給付費準

介護保険料を軽減

備基金を取り崩して保険料を減額できないか。また、訪問介護など不採算の介護サービス事業への財政支援策が必要なのではないか。

町長 県内で最も高い介護保険料であることを踏まえ、基金を活用

するなどして65歳以上の方の介護保険料軽減の方向で検討します。

高齢者等に対する買い物支援策

また、訪問介護は介護報酬が低く不採算となり、撤退する事業所が増えていると聞きます。在宅福祉を支えている事業所が安定して事業継続できるように支援策を講じていきます。

質問

買い物支援の抜本的な方策が見つからない状況にある。町内商店とのマッチング事

実現に向けて着手

町長 買い物支援は、町の緊急かつ重要事業であります。道の駅との協議が必要ですが、中津川、西部および東部地区からの利便性、椿・添川の住宅団地からの距離等を考えると「道の駅」は適地であり、提案の内容は十分に効果的なものであると考えます。誘致に応じてくれるコンビニエンスストアなど早急に対策を講じます。

(本人執筆)

一般質問

持続可能なウエルビーイング(幸福・福利、健康) 豊かさが実感できる社会に



遠藤 忠 議員

SDGsとウエルビーイング社会は

質問 飯豊町のSDGsの取り組みとウエルビーイング社会の捉え方と豊かさが実感できる社会への取り組みは、

豊かで満たされた社会の実現

町長 SDGsの基本理念である「誰一人取り残さない世界の実現」や「豊かで満たされた社会の実現」を意味するウエルビーイング社会の実現は、これまで本町が進めてきたまちづくりの基本理念との親和性が非常に高く本町が目指す「飯豊の姿」です。

町内の鳥獣被害対策と熊肉等の観光資源活用

質問 特にイノシシの町内山間部での被害が広がりはじめています。駆除対策と、町内の特産品として「ジビエ料理」の提供は。

捕獲と侵入防止の複合対策で被害の軽減

町長 近年はイノシシの被害も急増しており、多大な支障をきたしています。くくり罠や電気柵を来年度予算で更なる拡充を行います。ジビエ料理は検討課題です。

第三セクターの活力増進政策と抜本的再構築

質問 人生100年時

代、長寿社会での温泉とジムでの健康作りと中津川地区の資源を活用した再構築は。

中津川地区内町有観光施設将来検討委員会を開催

町長 9月議会です。具体的提案を受け、もう暫らく検討の時間を頂戴したい。中津川地区検討委員会では2月末を目途に取りまとめる予定です。まず老朽化改善とアウト・ドア関係客も視野に入れます。

地元スーパードアに対する活性化支援策は

質問 町内買い物行動地域商業活性化対策は、
地域にとつてなくてはならない存在

町長 地域住民やコミュニティが期待する多様なニーズにこたえる場として、地域にとつて

なくてはならない存在であり続けられるように自己変革と時代に即した支援のあり方を検討します。

住宅と住環境整備は

質問 町内企業や大学の開校で従業員や学生の住環境整備は。

民間事業者と連携

町長 町内既存企業の工場拡張や将来的に貸工場の稼働による従業員の増加、さらには専門職大学の開設が許可されれば、住まいの確保は不可欠で、こちらから民間事業者と連携し早急に対応します。

教育現場におけるウエルビーイングは

質問 教育現場におけるウエルビーイングと飯豊のわが学校を世界一幸せな場所にすべく必要なのは。

ウエルビーイングの大事な要素は、思いやり・共感・信頼・感謝

教育長 SDGsの理念「誰一人取り残さない教育」と「質の高い教育」を実践しています。

ウエルビーイングの大事な要素が、思いやりや共感、信頼、感謝の感情であり、思いやりの醸成であり生きる力・人間力の育成であります。子ども達が学校生活で幸福感を感じ、先生や友達と築き上げる充実感や満足感と思えます。

飯豊の学校を世界一幸せな場所にすべく「豊かで満たされた生活(状態)」教育の「不易と流行」を大事にした教育を進めていきます。(本人執筆)

コロナウイルス克服を目指す 町民の支え合い等を決議

飯豊町議会では12月定例会において、新型コロナウイルス感染
における社会的課題に対して、二つの決議を行いました。
感染者への誹謗中傷が社会問題になっていくこと及び、医療・
福祉施策の充実のための更なる施策を講じることを呼びかけるも
のです。

誹謗中傷をなくし共に支えあうことにより、 新型コロナウイルス感染症の克服を目指す決議

新型コロナウイルス感染症は、全国で急速に感染拡大が進んでおり、県
内でも感染者が急増しています。その中であって町民は、細心の注意を払
い感染防止と、社会経済の両立に向け取り組んでいます。

こうした状況の下、感染者やその家族、学校や勤務先等に対し、SNS
等の媒体による心ない誹謗中傷や、間違った情報拡散、感染者や感染経
路を詮索する事例などが発生しています。

これらの行為は、偏見による差別であり、人権擁護の観点からも看過で
きません。また、飯豊町民が先人より引き継いできた「やさしさ」や「思
いやり」という美しい文化を失ってしまうこととなります。新型コロナウイルス
は、気づかないうちに誰もが感染する可能性があります。今、私た
ちが行うべきことは感染防止策の徹底であり、感染者を誹謗中傷すること
ではありません。

医療・福祉従事者はじめ多くの方々が困難な状況の中で頑張っている今
こそ、私たち一人ひとりが、共に支え合うことが
何よりも大切なことです。

よって、本町議会は、誹謗中傷の根絶を目指す
とともに、新型コロナウイルスの諸課題に真摯に取り組ん
でまいります。町民の皆様も、共に支え合いなが
ら、乗り越えてまいりますよう。

以上、決議する。

令和2年12月15日

飯豊町議会



安全安心の医療介護の実現と 国民のいのちと健康を守るための意見書

新型コロナウイルスによる感染爆発は、経済活動
や国民生活に深刻な影響を及ぼし、国民のいのちと
健康が脅かされる事態が広がった。この経験から明ら
かになったことは、感染症病床や集中治療室の大幅
な不足、公立・公的病院の重要性、医師・看護師・介
護職員の人員不足、保健所の不足問題などである。

この背景には、医療・介護・福祉など社会保障費
の抑制策等にある。
国民のいのちと健康、暮らしを守り、経済への影
響を最小限に抑え込むため、医療や福祉関係施策の
充実を下記のとおり要望する。

記

- 一 医療・介護・福祉に十分な財源を確保すること
 - 二 公立公的病院は、地域の実情を踏まえた医療
体制の充実をはかること
 - 三 安全安心の医療・介護体制確保のため、医師・
看護師・医療技術職・介護職等を大幅に増員する
こと
 - 四 保健所増設・保健師増員など、公衆衛生行政
の拡充を図ること ウイルス研究、検査・検疫体
制などを強化・拡充すること
 - 五 社会保障に関する国民負担軽減を図ること
- 令和2年12月15日

飯豊町議会議長 菅野富士雄

内閣総理大臣・厚生労働大臣・財務大臣

総務大臣 殿

(文面は一部省略しています)

飯豊町防災ハザードマップを作製

総務文教常任委員会

各課からの報告

● 財務会計課

◆ 令和3年度納税申告は、2月8日から3月15日までの日程で中津川公民館、町民センターの受付となります。

● 総務課

◆ 山形県知事選挙日程は、令和3年1月7日(木)告示、1月24日(日)投票が行われます。

◆ 令和3年度飯豊町消防出初式は、1月10日(日)町民センターで短時間、少人数で行いました。

◆ 飯豊町防災ハザードマップB4サイズで令和3年2月に全戸配布する予定です。

● 企画課

◆ 国勢調査が終了し速報集計は令和3年6月に、確定報告は令和3年11月に公表されます。◆ ふるさと納税状況は、

寄付件数が6509件、寄付額は1億276万2405円です。

◆ 婚活事業は3事業を開催し、総数で46名の参加がありました。

◆ 第5次飯豊町総合計画の素案が完成し、策定委員会、振興審議会を得て町長答申、3月定例会に上程となります。

● 住民課

◆ 2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」の宣言を議会最終日に町長が宣言しました。

◆ 今後、地球温暖化対策、気候非常事態等の活動に取り組んでいきます。

● 教育長

◆ 町立第一小学校が、令和2年度全国保健文化部科学大臣賞を表彰されました。

● 社会教育課

◆ 12月26日(土)に手ノ子スキー場開き、安全祈願祭を行いました。

◆ 10月30日(金)に希望の桜の植樹祭をゆり公園で行なわれ、関係者や第一小の児童たちが植樹を行いました。

◆ 11月22日(日)にあぐらを会場に成人式が開催され、式の様子をYouTubeで欠席者や家族に配信しました。

質問と答弁

遠藤忠委員 ふるさと納税額を増やす施策は、

企画課長 ポータルサイトの窓口を多くすれば納税者と額も、多くなると思います。窓口が多いと手数料も高くなり町に入る納税額が少なくなります。納税増額に結びつく魅力的な商品に取り組みできます。

◆ 他に授業の遅れの質問

舟山委員 コミュニティスクールについては、人事権を有し慎重を期すべきと思われるが。

教育長 コミュニティスクールは、学校と地域を繋ぐ人達で構成する位置づけとなっていく。規則に定める人事件であり必要な科目等に対応する事を考えている。任意的な事のないように慎重を期す。

屋嶋委員

固定資産税567件と国保税76世帯の課税誤りによる還付状況は。

税務会計課長 固定資産税11件と国保税2件が未処理です。◆ 他に希望の桜、ふるさと納税についての質問。

映しているか。

防災管財室長 河川の氾濫を主に、県基準1000年に一度の浸水図を基に製作しています。土砂崩れや浸水箇所は、町民に聞き図表にして、よりよいマップに思っています。

後藤委員 防災ラジオ購入316万円の追加補正の内容は。また今回のみか。

総務課

事業者への配布もれの追加です。◆ 他にコロナ慰労金の算定基準の質問。

川崎委員 中津川地区への窓口サービス事業を公民館を主にモデル事業できないか。

住民課 まちづくりも考え環境が整えば可能と考えられます。◆ 他にマイナンバーの利用、英語教育の特化、地下価格の算定基準についての質問。

菅野委員

防災ハザードマップ製作は、どのような手法で、また町民の声を、マップに反

第5次総合計画の策定において 町産業振興と福祉の充実を問う

産業厚生常任委員会

各課からの報告

●農林振興課

◆本年度の水稲作柄概況は「置賜103のやや良」で、町内産つや姫の1等米の割合は、98・9%の結果となりました。

●商工観光課

◆貸し工場の「設置条例施行規則」で使用期間20年、終了申し出の場合20年の残余分を支払う文面を盛り込みます。

◆観光物産館が「プロ

が選ぶ観光・食事・土産施設百選」土産施設部門に入選しました。

●地域整備課

◆住宅リフォーム支援事業は現在40件1454万円の申請、執行率は97%です。

◆町単独小規模リフォーム支援事業の申請状況は15件、予算の執行率は35%です。

◆新生活対応リフォーム支援事業は、12件の申請があります。

●健康福祉課

◆児童発達支援施設整備事業を令和3年度に実施したい。現在本町に施設がないため、長井市の施設を利用していません。

●介護老人保健施設・

国保診療所

◆11月椿診療所の患者数が895人、前年同月より11・5%の増で、待ち時間が長くなっています。

質問と答弁

高橋(勝)委員

イノシシ等の鳥獣被害対策は、**農業振興室長** くくり

畀を増やすよう予算要求しています。畦畔の修復は地域として取り組んでいただく施策を考えています。

◇他に専門職大学 中津川クーポン券 アンテナシヨップ インフ

ルエンザワクチン 道

路整備計画等を質問 **川崎委員** フォレスト

いいでの今後の対応。 **商工観光課長** 現在中津川地区内町有観光施設将来検討委員会で検討いただいています。

◇他に雪室 森林環境税 貸し工場覚書 児童発達支援施設を質問 **遠藤(忠)委員** 貸し工場の本社機能を町内に。

◇他に認知症対策 介護認定審査会 消雪道路改修率 児童発達支援施設について質問

菅野委員 農の未来賞事業による農村計画の取り組みは。

町長 農村計画研究所のモデル事業の申請をしたところです。

◇他に転作の現状 水道の漏水の実態を質問 **遠藤(芳)委員** コロナ禍の第三セクターは。

商工観光課長 飲食宿泊施設については、コロナ禍の中で、宴会や宿泊がきびしい状況になつており、今後も指導していきます。

◇他に農林施設 畜産団地工事 専門職大学補助金等について質問



中津川地区のイノシシ被害

た。

中津川地区との意見交換会 鳥獣被害実態と調査



近年、中津川地区ではイノシシによる被害が急増していることから、来春の作付に影響する等の問題が発生しているため、11月3日岩倉及び川内戸地区で現地調査を行い、意見交換会を開催しました。現地では、イノシシ被害のあった畑、水田、畦畔、水路等を調査しました。



その後、中津川地区公民館にて意見交換会が開催されました。地区の代表から、これまでの鳥獣被害対策の実施や現在の被害状況、町に対して電気柵・罠・檻の設置、被害にあった耕作地の復旧等に支援の要望があり、今後政策提言等に対応することを確認しました。

町議会では、議員活動の一環として地域や団体との意見交換会を開催し、地域の実情を調査し意見を交換しています。本年度は、コロナ禍にあつて申し込みが少なく「中津川地区の鳥獣被害の実態と対策」の1件でした。



「災害対策における地方議会・議員の役割」と題して跡見学園女子大学観光コミュニケーション学部教授鍵屋一氏の講演。東日本大震災の際の教訓をもとに、住民への寄り添いと行政の対応方法でした。

**県町村議長会
議員研修会**
10/20 高島町



講師はグラフィックデザイナーの長岡光弘氏で、研修内容は「14町村の議会広報クリニックス」。いいで町議会だよりは、町民視点を意識した内容に心がけることを指摘いただきました。

**県町村議長会
広報研修会**
11/5 山形市



研修内容は「新型コロナウイルス感染症防止対策について」講師は置賜総合支庁保健福祉環境部医療監兼置賜保健所長 山田敬子氏。内容は感染症症状や防止策、保健所の対応、正しい情報の確認等でした。

**置賜町村議長会
議員研修会**
12/1 あさす

各種研修会

議会では、県・置賜地区において開催される、各種研修会に参加しています。本年は新型コロナウイルス感染症防止に配慮し開催されました。



2021年 新年の挨拶



新春を寿ぎ、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

一日も早い日常生活と経済活動の再開を祈念します。

川崎 祐次郎



謹賀新年

明るい未来が広がる世界になりますように。

議員の立ち位置を再認識して、進みます。

菅野 富士雄 (議長)



新年おめでとうございます。

コロナに負けないで力強く前進し、希望を持った一年としてまいります。

舟山 政男



あけましておめでとうございます。

一日も早いコロナの終息を願うとともに、今年も町民皆様の声を第一に提言してまいります。

屋嶋 雅一



昨年は各方面の皆様にお世話になりました。

今後も地域の实情を見て聞いて解決できるよう努めてまいります。

高橋 勝



町政のチェック機能を果たすこと、あわせて町政の課題と将来像を明らかにするよう努めてまいります。

遠藤 芳昭



今年もコロナで新年を迎えることになりました。一日も早い終息と町民の幸せを初詣にお祈りし穏やかな年になりますように。

高橋 亨一



新年明けましておめでとうございます。

今年も町民の皆様の幸福と安心安全のために活動を頑張ります。

遠藤 忠



あけましておめでとうございます。

コロナ過の中、町民の皆様が安心して安全に暮らせるまちづくりに努力してまいります。

後藤 恵一郎



昨年は色々な出来事が多い年でもありました。今年こそ、多くの問題や出来事がない年にして行ければと思っています。

古山 繁巳



一部事務組合議会報告

～決算認定へ～

西置賜行政組合議会

第3回組合議会定例会が10月21日に長井市の同組合消防本部にて開催されました。議題は令和元年度一般歳入歳出決算認定と、令和2年度一般会計補正予算についてです。決算認定においては、管理者から提案説明を受け、その後、会計管理者

置賜広域行政事務組合

令和2年11月30日定例会を開催し、令和元年度各会計決算を認定。令和2年度一般会計補正予算・消防特別会計補正予算について審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

また一般会計決算は、



から決算の細部説明、監査委員から監査報告を受けました。質疑では補正予算は歳入歳出に55万円（小国分署仮眠室エアコン設置）を追加するもので、両議題とも原案どおり可決されました。



西置賜消防本部

表紙写真説明

全面通行止め解除に向け緊急対策工事を進めていた「中津川橋」の補強が完了し、12月7日午前7時に通行止めが解除となりました。中津川地区の皆様には長期間にわたり迂回にご協力いただきまして、ありがとうございました。深く感謝申し上げます。



通過車輛を見送る工事スタッフ

編集後記

新年明けましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症の終息が見えないなかで、自粛生活や帰省の制限などが続き、各方面では、深刻な状況が続いています。

昨年は記録的な少雪でしたが、今年は例年並みのようですので、地元スキー場に子どもたちの歓声が響くことを願っています。

今年も町民の声に真摯に向き合い、よりよい広報紙づくりに委員一同邁進していきます。
(高橋勝 記)

発行責任者 菅野富士雄
議長 高橋 亨一
発行 広報公聴常任委員会

委員長 高橋 亨一
副委員長 舟山 政男
委員 古山 繁巴
遠藤 芳昭
屋嶋 雅一
高橋 勝